



2015～16年度  
国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン

# Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16年度  
新潟ロータリークラブ会長  
竹石 松次

新潟 RC10月第 1 例会 (2015.10.6) No.3105

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

小川 未明

明治十五年 (1882) ～昭和三十六年 (1961)

上越市幸町 (旧中頸城郡高城村) で生まれた、本名健作は、小川家の長男として誕生した。小川家は代々高田藩榊原氏の家臣で、父の澄晴は、幕末の戊辰戦争に参戦している。

生後間もない頃から三歳まで養子に出されるなどしたが、明治二十一年岡島小学校に入学、ひとりっ子で癩癩持ちの健作少年は教師や同級生としばしば衝突を繰り返したという。また、漢学塾や剣道場にも通い青年期を過ごした。

教道職の資格を持つ父澄晴が、戦国時代の武将、上杉謙信を崇拝する春日山神社を創設、未明のその後の人間形成にも大きな影響を与えた。

明治二十八年、高田中学に入学、この時に一緒だった相馬御風とは、生涯の友となった。文芸部で活動、漢詩を学ぶ一方、「中学世界」に投稿するなど活動を始めたものの苦手な理数学を嫌ったため進級に至らぬ結果となるなど、将来の文学青年萌芽の片鱗を覗くことが出来る。

明治三十四年には、上京し東京専門学校文化に合格、翌年早稲田大学と改称された。同級生に種田山頭火 (放浪の俳人)、同郷の相馬御風、河井醉茗 (詩人)、西村酔夢 (新聞記者) ら多くの友人と文芸活動を実践した。しかし、何と言っても坪内逍遙との出会いが、作家活動に向かうために多大な刺激を受けた。毎月、逍遙家で開かれた読書会に出席、創作作品の添削指導を受けたことで大きな影響を受ける。

また、晩年のラフカディオ・ハーン (小泉八雲) の講義からも影響を受け、卒業論文に選んでいる。

坪内逍遙の紹介で処女作「漂浪児」を発表、名前も逍遙が、

「ゲエテは、美は黄昏にあるといったが、黄昏では果てがないような気がするから、同じ薄明でも夜明けにしたらどうか。未明 (ビメイからミメイ) がよからう」

と言われ名前が誕生した経緯がある。

明治三十八年、「新小説」にふるさとの情景を背景に、ひとりの少年の孤独や不安を、反抗心などを美文調で著わした「霰 (あられ) に雲 (みぞれ)」で作家としてのスタートを切った。

私生活でも長岡市出身の山田キチを妻に迎える一方、英独留学から帰国した早稲田大学講師の島村抱月のもとで、新しい童話運動をめざす。「早稲田文学・少年文庫」の編集者として活躍する仕事を得る。

新聞社や雑誌社の仕事を試みたものの『宮仕えは性に合わない』ということになり、文筆活動に専念することを決意する。未明二十七歳であった。

やがて小説「薔薇と巫女」「物言わぬ顔」、そして、近代文学としての日本最初の童話集「おとぎばなし集・赤い船」が出版された。

大正二年、大杉栄が「近代思想」で未明の作品を批評したのが縁で、大杉と知り合い、当時の世相を物語る社会思想への思いを作品に仕上げている。未明研究者によると、「未明は、社会主義を理論的に受け入れるタイプではなく、空想社旗主義＝アナキズム、つまり、個人の自由と平等を主張し、国家権力による支配を否定するアナキズムの思想に共感したことが大きかった」と分析されている。

短編集「底の社会へ」「石炭の火」「小作人の死」「青白む都会」など労働者、農民などを扱った社会的な傾向色の強い作品が一時的に創作された。

しかし、未明の童話作家への道はやがて芥川龍之介、北原白秋、島崎藤村と共に芸術性に満ちた童話創作となって本格化して行く。

大正七年、「おとぎの世界」を主宰、「牛女」「海と太陽」を発表、そして、大正十年、東京朝日新聞に「赤い蠟燭と人魚」が掲載された。挿絵は岡本一平が描いた。

この作品は、

「人魚は、南の方の海にばかり棲んでいるのではありません、北の海にも棲んでいたのです……」

という出だしで始まる物語は、人間世界にあこがれた人魚が、人間世界の醜い私利私欲の世界に巻き込まれ、赤いローソクを通してそのことの意味を問い質している。

未明の作品は、童話ではあるものの、大人が読んで多くの示唆を得るもので、デンマークのアンデルセン、ドイツのグリム、イギリスのロビンソン・クルーソー、そして、未明の存在が、一際異彩を放っている。

戦前、戦後を東京で過ごした未明は、昭和二十六年「文芸春秋」に自伝的エッセイ、「童話を作って五十年」を公表、「小川未明童話全集」が出版された功績もあって、芸術院賞を受賞、昭和二十八年には、芸術院会員、文化功労者として表彰される。

昭和三十六年、東京・高円寺の自宅で死去、七十九歳であった。

「明日の社会を知らんと欲せば 今日の子供を見よ 道遠くして日は傾けり 独り草原に坐して火雲の乱舞を見る 雲の如く高く くものごとく かがやき雲のごとく とらわれず いかなる烈風も若木を折る力なし 伸びよ子供等よ 弱き者のために立ち代弁なき者の為に起つ 我これを芸術の信条となす」未明が揮毫した格言である。

大正十五年、「童話作家宣言」を新聞紙上で発表。

「自由と、純真な人間性と、そして、空想的正義の世界にあこがれていた自分は、いつしか、その芸術の上でも童話の方に惹かれて行くようになってしまいました。私の童話は、ただ子供に面白い感じを与えればいいというのではない。また、一篇の寓話で足れりとする訳でない。もっと広い世界にありとあらゆるものに美を求めたいという心と、また、それ等がいかなる調和に置かれた時のみ、正しい存在であるかということに詩としたい願いからでありました」と自らの思いを語っている。

### (3) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

### (4) 100%出席バッチの贈呈

横村 正一君 8年 斎藤庫之丞君 14年

### (5) 誕生日お祝い贈呈(12名)

### (6) 結婚記念日お祝いの紹介(18名)

### (7) 委員会報告

・岡村会員増強委員長

「ロータリーを楽しもう」というパンフレットと会員推薦用紙をお配り致しました。現在会員数99名です。適任の方のご推薦を是非、よろしくお願ひ致します。100名の大台に乗せましょう。

### (8) 同好会報告

・高橋 康隆料理研究会会長

10月23日(金)午後6時から新潟調理師専門学校におきまして料理研究会を開催致します。お試し参加の方、大歓迎ですので、吉田幹事へお申し出願ひします。大体、7~8名のご参加でアットホームな感じで開催しております。

・山田 隆一野球同好会幹事

10月24日(土)ハードオフエコスタジオにて新潟市内7RC野球大会が開催されます。新潟クラブは第二試合 10:00

より新潟北・中央合同チームと対戦致します。現在12~3名の選手が集まっておりますが、他にも参加可能な方は是非、ご参加をお願ひ致します。

### (9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

宇尾野 隆君 福地 利明君

小林 敬直君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

五十嵐幸雄君

### (10) ニコニコボックス紹介

・秋山 博一君 先週は私のつたない会員スピーチを御静聴頂きありがとうございました。お話に出た柏崎鯛茶漬ですが先週末開催された国際ご当地グルメグランプリで56グルメ中、準グランプリを獲得しましたのでニコニコします。なお今週末(10/10.11)は Teny さんの35周年「てとフェス」に出店しています。くまモン、ふなっしーが来るそうですが、えちゴンは声が掛かっていません。宜しくお願ひ致します。

・金親 顯男君 結婚記念日の花が届きました。46回目の記念日を10/5に祝いました。銀婚式まであと4年、健康で頑張ります。

### (11) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

- ・10月3日(土)高田 RC 創立60周年記念式典に参加して参りました。
- ・新潟東 RC 主催の講演会チラシをお配りいたしましたのでご確認願ひします。
- ・例会終了後、新幹線車両センターへの職場訪問に参加される方でバスご利用の方はイタリア軒前より13時40分に出発いたします。

### (12) 米山月間に因むお話

小林敬直米山奨学委員長

米山奨学生 朴 治国さん

### (13) 10月 6日例会の出席率 69.47 %

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者66名(出席免除会員5名を含む)

(2週間前メーク後 87.10 %)

### 10月20日の例会予定

会員スピーチ

農林中央金庫新潟推進室室長 鷗野 幸規 君

新潟ロータリークラブホームページアドレス  
<http://www.niigatarc.jp/>

## 10月6日 理事会報告 出席者10名

1 新潟 RC 細則、会計基準等に関する委員会の設置について

竹石会長より設置趣旨についての説明があり、承認された。

2 次々年度会長指名委員会開催について

塚田理事より10月20日（火）11時から開催の説明があり、承認された。

3 年次総会告示について＝承認

10月27日告示 12月1日年次総会

4 10月27日（火）公開講演会・月見例会確認事項

5 11月28日（土）浪江町訪問について

4. 5. とともに竹石会長より開催の説明と協力要請があった。

6 新会員の推薦申込について＝承認

(株)ユアテック 新潟支社

取締役支社長 中山 哲克君

7 小木 順一郎さんの退会届＝承認

8 10月のプログラム＝承認

10月 6日 米山月間に因むお話し

米山奨学委員長 小林 敬直君

米山奨学生 朴 治国さん

10月13日 会員スピーチ

日本銀行新潟支店長 千田 英継君

10月20日 会員スピーチ

農林中央金庫新潟推進室室長

鷗野 幸規君

10月27日 公開講演会 於 イタリア軒

開場 13:30

講演 15:00~17:00

月見例会 イタリア軒

受付 17:30

開会 18:00

閉会 20:30

## 新潟 RC 細則、会計基準等に関する委員会

新潟 RC 細則、会計基準等については、時代の変化にマッチしない表現や実態に即していない等について、会員から変更を求める意見が出ているため10月を目途に委員会を立ち上げ、二つの部会を発足し、検討することと致しました。検討委員会は、10月の理事会の承認を得たのち、早急に立ち上げ、2015-2016年度に解りやすい表現と実効性を高めるために凡そ半年の間に結論を出すためにご尽力をお願いし運営にあたることと致します。皆様のご協力の程よろしく申し上げます。

新潟ロータリークラブ細則、会計基準等に関する委員会

委員会委員長 竹石松次会長

1. 新潟 RC 細則検討委員会部会  
部会長 樋熊紀雄氏（副会長）

小山楯夫氏 石本隆太郎氏、本間 彊氏、  
宇尾野隆氏、書記（幹事）吉田和弘氏

2. 新潟 RC 会計基準検討委員会部会  
部会長 敦井榮一氏（監査役）

高橋康隆氏、山本正治氏、若槻良宏氏、  
柴田史郎氏 書記（副幹事）細野義彦氏